

2019年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向

1 HIV感染者・エイズ患者の報告数と相談・検査件数

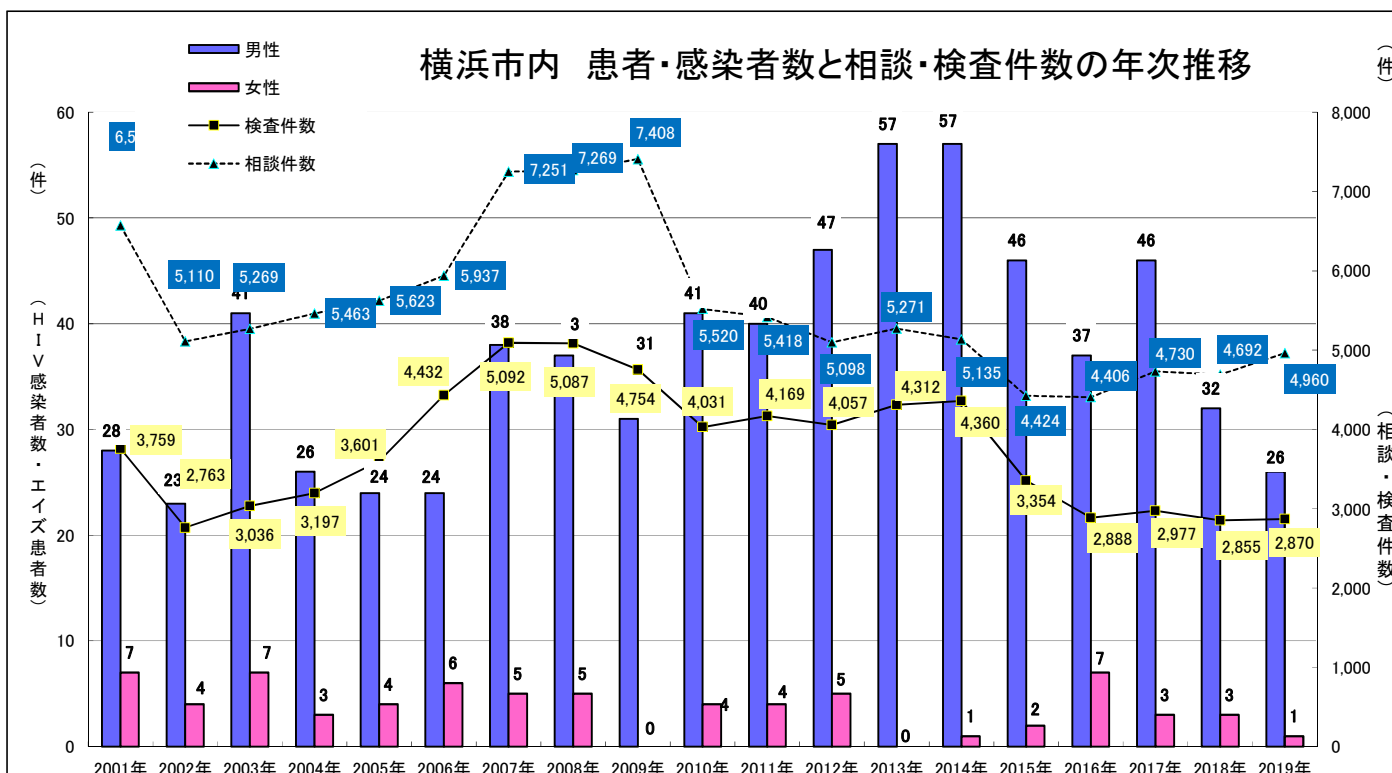
2019年に本市に新たに報告された「HIV感染者」は、16件のうち男性15件（93.8%）、女性1件（6.3%）、「エイズ患者」は11件のうち男性11件、女性0件で、総数では27件であった。

（注）「HIV感染者」とは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているが、エイズを発症していない状態で報告されたもの
「エイズ患者」とは、エイズと診断されて報告されたもの

2019年の本市のHIV検査・相談事業の実施総数は相談が4,960件、検査が2,870件であり、前年より相談は268件（前年比5.7%）、検査数は15件（同0.5%）増加した。

検査の実施施設別にみると各区福祉保健センター（平日昼間）が763件（26.6%）、夜間1,150件（40.1%）、土曜704件（24.5%）、日曜253件（8.8%）であった。前年と比較して各区福祉保健センターは46件（前年比5.7%）減少したが、夜間検査は37件（同3.3%）増加した。

2019年のHIV検査の陽性者数は7件（陽性割合0.2%）であり、前年（6件0.2%）より増加した。実施場所別にみると各区福祉保健センター0件（前年2件）、夜間5件（同0件）、土曜2件（同4件）、日曜0件（同0件）であった。



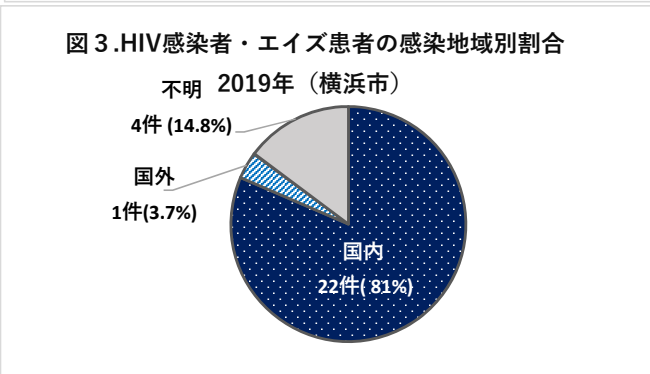
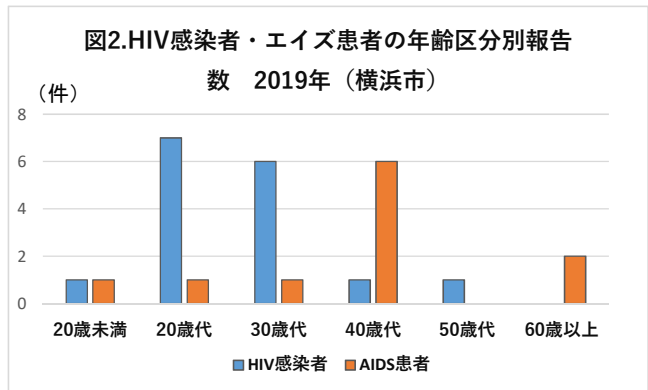
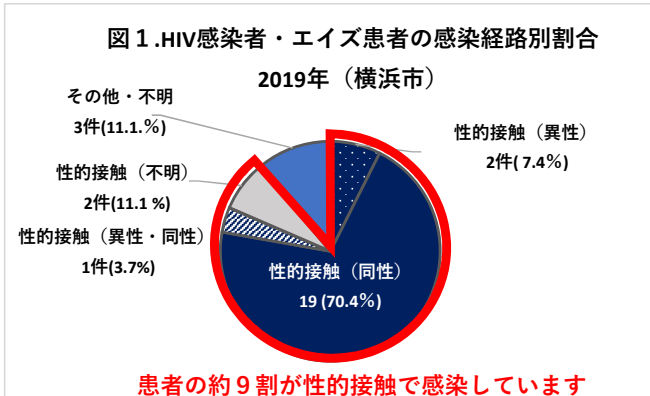
	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
HIV感染者新規報告数	35	27	48	29	28	30	43	42	31	45	44	52	57	58	48	44	49	35	27
（うちAIDS患者）	(16)	(8)	(19)	(9)	(10)	(11)	(17)	(11)	(6)	(14)	(10)	(18)	(12)	(16)	(19)	(13)	(15)	(13)	(11)
男性	28	23	41	26	24	24	38	37	31	41	40	47	57	57	46	37	46	32	26
（うちAIDS）	(13)	(8)	(15)	(9)	(9)	(9)	(15)	(8)	(6)	(12)	(10)	(16)	(12)	(15)	(18)	(11)	(15)	(11)	(11)
女性	7	4	7	3	4	6	5	5	0	4	4	5	0	1	2	7	3	3	1
（うちAIDS）	(3)	(0)	(4)	(0)	(1)	(2)	(2)	(3)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(2)	(0)
相談数	6,571	5,110	5,269	5,463	5,623	5,937	7,251	7,269	7,408	5,520	5,418	5,098	5,271	5,135	4,424	4,406	4,730	4,692	4,960
検査数	3,759	2,763	3,036	3,197	3,601	4,432	5,092	5,087	4,754	4,031	4,169	4,057	4,312	4,360	3,354	2,888	2,977	2,855	2,870
昼間	2,213	1,354	1,516	1,518	1,307	1,476	1,787	1,637	1,380	818	786	723	746	729	667	644	763	809	763
夜間	911	589	704	855	822	817	942	1,145	1,146	1,165	1,596	1,635	1,806	1,847	1,237	974	1,124	1,113	1,150
土曜	635	820	816	824	1,472	2,139	2,363	1,966	1,598	1,475	1,254	1,136	1,155	1,176	975	818	746	699	704
日曜	—	—	—	—	—	—	—	339	630	573	533	563	605	608	475	452	344	234	253

2 新規報告されたHIV感染者・エイズ患者の状況

2019年のHIV/エイズの感染経路別にみた報告数は、性的接触（同性）が19件（70.4%）で最も多く、次いで性的接触（異性）が2件（7.4%）、性的接触（不明）2件（11.1%）、性的接触（異性・同性）が1件（3.7%）、その他・不明が3件（11.1%）であった（図1）。

年齢区分別で多い年代は、HIV感染者は20歳代が、エイズ患者は40歳代であった。（図2）

感染地域別では国内が22件（81.4%）、国外が8件（29.6%）、不明4件（14.8%）であった。（図3）



横浜市AIDS市民活動センター
マスコット「コムちゃん」

3 梅毒の状況

2019年に本市に報告された梅毒患者は、117件のうち男性82件（70.1%）、女性35件（29.9%）で前年より31件（前年比20.9%）減少した。梅毒は近年全国的に、男女ともに急増しており、本市でも2012年から6年間で約10倍に増加している。（図4）

男女別、年齢別では男性は20歳代～40歳代、女性は20歳代が多く報告された。（図5）

病期別では、早期顕症梅毒Ⅰ期46件（39.3%）、Ⅱ期34件（29.1%）、晚期顕症梅毒3件（2.6%）等の有症状で診断されているが、無症候33件（28.2%）、先天梅毒1件（0.9%）の報告もみられた。（図6）

